

山名	八ヶ峰 他			山行名	西の鯖街道				
ルート	小浜ー八ヶ峰ー美山ー深見峠ー京北ー茶呑峠ー小野郷 (周山街道沿、バス) →京都駅								
山行日	2019. 5. 3～5. 5			天候	3日共に快晴				
参加者	リーダー：山下隆 サブリーダー：下坂 男性 (竹原順治、西川洋)、女性 (伊藤多恵子、竹原絹栄、平松) 合計；7人								
概略地図 N ↑ 小浜からずっと南下する(小浜街道)。西の鯖街道は26通りのルートがあり、10年前に設立された「西の鯖街道協議会」の推奨は高浜市から京都市へのルートだが、今回は宿の位置の関係で推奨ルートの少し東側のルートを設定した。	5/3日(金)			5/4日(土)			5/5日(日)		
	松井山手	発	6:05	宿	発	6:20	宿	発	6:15
	小浜(タクシー乗車)	着	9:15	深見峠	着	10:20	狭間峠	着	7:00
	久坂橋(タクシー下車)	発	10:04	(戻り深見峠)	着	11:20	竜ヶ坂ゲート	着	8:19
	八ヶ峰登山口	発	11:00	深見峠	発	11:35	竜ヶ坂555m	着	9:15
	(途中昼食)		(25)	トンネル口(食事)	着	12:20	茶呑峠(食事)	着	11:05
	八峰分岐(頂上往復)	着	14:45	トンネル口(食事)	発	13:10		発	11:40
	同上	発	15:10	上弓削パーク	着	14:40	小野郷(バス停)	着	13:43
	知井坂	着	15:18		発	15:00		発	14:24
	八原登山口	着	16:12	京都ゼミナールハウス	着	15:20	松井山手	着	17:00
	美山河鹿荘	着	17:20						
歩行所要時間(食事時間含む)		7:15			8:20			7:30	
<p>出発前日に大林さん・上田さん・西川敏彦さんの御指導で特大の鯖寿司作りと手打ち蕎麦作りを参加者全員で楽しむ。山は早朝出発で途中はお店もないので、各自5食を用意する必要があり、日持ちする鯖寿司はピッタリだった。ジョークCLさん、歌CLさん、お花CLさん、地図読みCLさんや4年振りの山行で自信を取り戻したHさんと共に、新緑の下 山あり・川あり・めでる花あり・歴史遺産あり・タンポに写った日本の原風景あり・温泉有りと忘れ難い山行だった。歩きは毎日約3万歩・17km。山中では完全な貸切で、周山街道以外の道もほとんど貸切状態で気分良くゆったりと歩けた。周山街道は車が飛ばして危険なので避けた方がいい。残念だったのは鯖寿司を持ってくるのを忘れた方、初日に足まめを作ってしまった方だった。11年前に行った「東の鯖街道」も良かったが、天気にも恵まれた「西の鯖街道」が優勢だった。</p> <p>計画時点で気になったのは、①1昨年秋の台風21号の影響で計画したルートの荒れ具合だ。事前に最近のヤマレコで調査したところ、3日目の予定のコースの一部は倒木多く、谷筋の道が消えている所があったりし、当初計画したコースを変更した。全体としては21号台風での激しい倒木場所は所どころあったが歩くのに支障は少なく、持参したノコギリは使わなくてすんだ。</p> <p>②2日目は23kmを歩く長距離計画ゆえ、エスケープとし宿泊先に送迎を依頼しておいた。深見峠からは長・中・短距離の3ルートを考えていたが、短距離ルートを選択した。深見峠付近でのルート探索で、1時間以上のロスと疲れもあり周山街道沿いの上弓削パークで車の送迎を依頼した。早く着いたので、風呂・BBQ夕食とゆっくりできた。</p> <p>③ 深見峠付近は1/2.5万の地図で不鮮明な所もあるので、最近のヤマレコ報告例を事前に調査し</p>									

た。やはり足跡はジグザグで難所と予想されたので拡大地図を用意した。10年前に作成された「深見峠」の道標が見つかり、ここから左折し、旧周山街道を目前にした所で金網で保強された傾斜地(高さ20~25m)に出合い前進できず。一番の難所となる。その周辺は急斜面で降りることも一時トライしたが危険と判断し、再度深見峠に登り返し、緩斜面を探して安全な場所まで道なき道をくだった。ロープ等があれば時間的ロスを避けられたであろうに(反省とし、山の難易にかかわらずロープ・シュリング・カラビナは共通装備として用意すること)。ヤマレコでは深見峠一美山を歩く記録はあるので、正しい別ルートがあったのかもしれない。京都ゼミナールの担当者の話では深見峠越えはお勧めでないとのことで、予算も厳しいので一般道路の修復が優先で山道の整備は後回しになってしまうとのことでした。

ヒヤリハット;寝ている間に虫に指を刺された。朝方に薬を塗るも、時間がたっていたからか、手の甲がかなり腫れた。京都駅について至急病院へ駆け込む。

感想文

総会の日山下さんから声をかけて頂いた。「(返事は)2,3日待って下さい」と頼んだら、「今日申し込まないといっぱいになるよ」と。ソフトだけど押しが強いのです。「東の鯖街道」にも行っていないのに、よりマイナーな「西の鯖街道」に行ってもいいのだろうか?…いや、これを逃したら二度と行く機会はない、西でも何でもいいから行こうと決めた。前日には鯖寿司作りまであって、「鯖寿司を担いで鯖街道を歩く」なんて、山下さんらしい風流な企画と、これにも感心。(大林さん、上田さん、西川お兄さん、ご協力ありがとうございました。)

3日間、山中では文字通り人っ子一人出会わず、それをいいことにダジャレが飛び交い、歌声が響き、静かな山里をのし歩いたのでした。ハヶ峰周辺では斜面一杯に広がるイワカガミの大群生に息を呑む。林にはさわやかな風が吹きわたり、開いたばかりの若葉が揺れている。花も木々も風もすべてが春のもの。なぜか、地味なだけのマムシグサに人気が集まっていた。人気者と言えば、ヤモリ、ラベンダー(?),イカリソウなども。何を見ても楽しく盛り上がったのは旅の仲間のおかげです。

コースも宿も快適で本当に考え尽された行程でした。山下さん、本当にありがとうございました。
(伊藤 多恵子)



旅の始まりは前日のサバ寿司作りからでした。1人2本ずつ作って、1.5本をザックに入れて3日間とてもおいしくいただきました。

一日目はハヶ峰に登頂。イワカガミやシャクナゲに感動。2日目は林道から深見峠を経て林道のゲートが見えたと思ったら、先導組が道が無いからと戻って来て急斜面を降りるのは無理なようで来た道を峠の分岐まで戻ること。戻って迂回するのに1時間のロスタイムだったかな? でも想定

内のことです。

3日目も宿を6時過ぎに出発。八重桜や民家に咲いている九輪草(?)に癒されながら京都一周トレイルの一つ「京北トレイル」の一部を歩く。3日目の林道が倒木やデコボコアスファルトなどで道路が一番荒れていました。

さて、1日目と3日目のJR西日本バスで乗って見ないと回数券での割引状況がわからず、頭脳をフル回転して全員の運賃一括払いの計算に明け暮れました。いつかまたこの結果をよき方向に活かしたいと思いました。
(竹原 絹枝 2019.5月)

長い間宿泊山行から遠ざかっていましたが、おいしん坊の私は鯖寿司作りに心奪われ参加しました。大林さん、上田さん、西川さんのお兄様のお世話で、鯖寿司にお蕎麦、天麩羅と旬の品づくしのどれも美味しく頂き春満喫の楽しい前昼祭でした。好天に恵まれ直Qバスに乗り込み松井山手、京都駅でメンバーと合流。近江今津からのバスでは偶然にも久しく逢っていない自宅隣の大学生の孫息子君が声を掛けてくれたのは嬉しいハプニングでした。出発してから人家を過ぎしばらくすると可愛い蔭の花に出会い感激。八ヶ峰への道にはワカガミや沢山の花が咲き誇り心いやされました。待望の昼食タイムではメインの鯖寿司に舌つつみ。イカリソウに石楠花が目には入りますが高度が上がるにつれ体力不足の私はトロトロ歩きになりました。水分と行動食を補給しながら、声掛けをして頂き何とか回復。お世話をかけてしまいましたが、はらはらと舞う桜をおしみ乍ら皆さんと共に3日間歩く事が出来ました。山行中は誰にも会いませんでしたが、くりん草、マムシ草、ウラシマ草、鳥や魚、多くの生き物達に出会いました。そのつど皆で同じ思いで感じ心動かされる事がこちち良くとでも嬉しくなりました。なんて心優しい仲間なんだろうと、楽しい山行の醍醐味を味わいました。西鯖街道は道なき道の所も多々有りましたが石仏やお地藏様にお参りをして旅人が行きかったと言う江戸の時代に思いをはせロマンを感じながら頂いたかしわ餅はとても美味しく格別でした。古き街道を歩き乍らも地図・コンパス・スマホでの最新の位置確認で安心、安全を実感しました。便利なヤマップをいち早く使いこなしている男性達は凄いなあと感じました。数年も前から山下さんが温めて来られた企画で11月から細やかな準備をして下さったと伺いました。笑いの絶えない心のこもった楽しい山行でした。参加する事が出来て良かったです。有り難う御座いました。また電卓片手の竹原さんの素晴らしく緻密な計算力でとても格安山行になり有難たく、おつかれ様と感謝です。



私達が3日もかけて歩いた江戸の道を鯖を担いで歩いた昔の人はやはり偉かった。

(平松 多希子)

(平松 多希子)

